

平成11年7月2日
原子力安全対策課
(11-48)
<21時記者発表>

新型転換炉ふげん発電所の重水精製装置Ⅱ エリアトリチウムモニタ等の上昇について

このことについて、核燃料サイクル開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

新型転換炉ふげん発電所（新型転換炉；定格出力16.5万kW，第15回定期検査中）では、本日、運転員のパトロール中に、重水精製装置Ⅱの循環液フィルタ付近から重水が漏れていることを確認したため、15時15分に同装置の運転を停止するとともに、15時29分に重水精製装置Ⅱの換気系を停止し、15時34分に重水精製装置Ⅰの換気系を停止した。また、15時45分に循環液フィルタの前後弁を閉止し漏えい箇所の隔離を行い、16時45分に漏えい停止を確認した。

これに伴い、15時25分頃から、重水精製装置Ⅱエリアトリチウムモニタの指示値が上昇し、15時44分に高高警報が発信した後、17時25分に最大となり、それ以降、徐々に下降している。

また、重水精製装置建屋スタックトリチウムモニタについては、15時25分頃から指示値が上昇し始め、19時35分に高警報が発信しているが、15時34分の換気系全停止により、それ以降、重水精製建屋から外部への換気放出はなく、排気筒内にある滞留空気を測定しているものである。

本事象による環境への放射能の影響はない。

（参考）モニタ

	重水精製装置Ⅱエリアモニタ	重水精製装置建屋スタックモニタ
高警報 高高警報	3.7×10^{-2} Bq/cm ³ 1.1×10^{-1} Bq/cm ³	3.7×10^{-2} Bq/cm ³ 1.1×10^{-1} Bq/cm ³
17:25現在	3.98×10^0 Bq/cm ³	1.59×10^{-2} Bq/cm ³
20:15現在	1.66×10^0 Bq/cm ³	4.55×10^{-2} Bq/cm ³

（参考）トリチウムの全放出量

約 3.4×10^7 Bq （換気系全停止〔15時34分〕までの放出）